

◆2020年 中学入試算数 講評【聖光学院】

例年通り、小学生である受験生にとって無理のない範囲で、中学受験算数で学んできた知識をもとに試行錯誤したり、抽象化したりする力が求められています。

大問3 速さ

状況はやや複雑ですが、適切にダイアグラムに表現できればそれほど煩雑ではありません。

大問4 立体図形 投影 体積

投影図から立体を特定し、求められるように適切に分割して、ミスなく解ききるのは、かなりタフだと言えます。

大問5 平面図形

六角形の中に点があった時に、各辺とできる6つの六角形の面積について考察する問題。

(2)では、三角形の面積が六角形の面積の4分の1になるのはどういう状況かそれが二つできるのはどういう状況かということそれぞれ正しく解釈することが求められる、難易度は高いものの、無理な出題ではない良い問題です。